

第93回 「生産保全のマネジメントリーダー」を育成する

設備管理士養成コース

(公社)全日本能率連盟認証資格第29号 (509社 2,542名が取得 2016年12月末現在)

開催期間 (全5ヶ月(5単位)合計12日間 ※第5単位は合宿)

会 場

2017年7月～11月

住友商事竹橋ビル15階 1504研修室
(東京都千代田区)

**受講
対象**

部門 ◆ 工務・保全部門、製造部門、生産技術部門、設備設計部門
役職 ◆ 管理職、管理職候補および技術スタッフ、工場経営者候補

セミナーのねらい

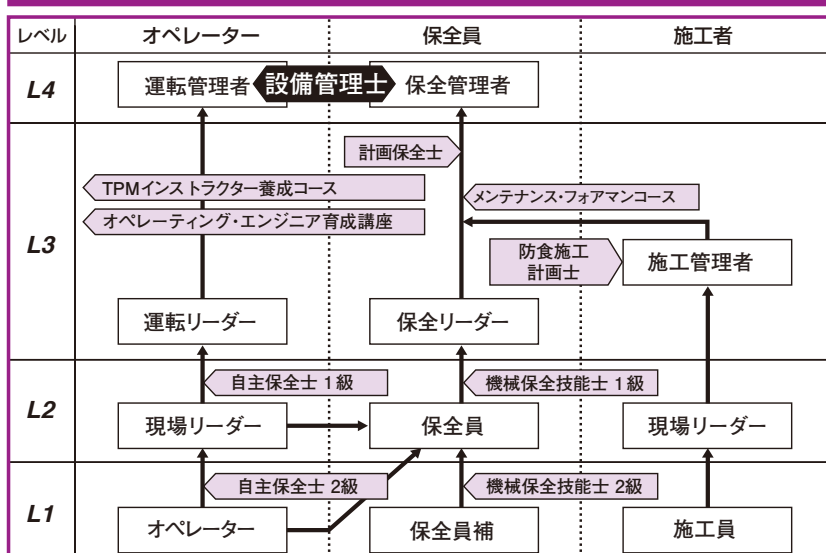
国内産業界を取り巻く環境は多方面にわたって大変厳しい状況下であり、このような中で適正な利益を確保しつつ、成長を遂げるためには従来のように安易な設備投資に頼ることはできません。今日求められていることは、現有の設備、人材をはじめとする企業資産をいかに有効に展開すべきかにあります。

設備管理士養成コースは、製造プラントのメンテナンス(TPM)技術の研究・開発ならびに普及、製造プラントの効率的な運用を図ることを目的に、生産保全教育体系の最上位のコースとして開催いたします。

本コースは生産保全のマネジメントリーダーの育成をめざし、上記の方々を対象として、生産保全の経営における位置づけを明らかにし、必要な総合的管理技術を提供するものです。

セミナースタイルは、講師による一方通行の講義ではなく、講師と受講者との対話、受講者間の討議、グループ演習や実習を通じて、『自ら考え、発信し、行動する』マネジメントリーダーの育成を目指します。

生産保全教育体系



参考：職業能力評価基準(厚生労働省、中央職業能力開発協会)



講義風景



グループ討議風景

本コースで目指すマネジメントリーダー像とカリキュラム

本コースでは経営のわかる生産保全のリーダーおよび工場運営のリーダーの育成をめざし、講義と実習を5ヶ月に渡り進めてまいります。

「生産保全のマネジメントリーダー」とは、全社経営方針における工場運営・保全方針を理解し、当該事業場における保全戦略を立案し、実行する責任者です。

「生産保全のマネジメントリーダー」とは？

具体的には、次のような役割が求められます。

- ① 全社方針に基づく保全の目的、目標の設定・見直しをする枠組みを与えること
- ② 準拠すべき法、規格・基準および関連する他の指針・方針を遵守すること
- ③ 保全に関わる技術を、最新科学技術水準に保たせること
- ④ 経営に及ぼす保全上のロス・リスクを把握し、有効な低減策をとること
- ⑤ 全社方針に準拠した保全マネジメントプログラムを策定し運用すること

これらの役割を果たすために求められる教育体系と設備管理士養成コースのプログラムとの関連性

教育体系		設備管理士の役割	設備管理概論	TPM概論	工場レイアウト	トライボロジー	改善活動の経済系評価	新製品開発における品質と信頼性	現場で役立つ設備診断技術	信頼性工学／システム安全工学	生産管理とIE	ライフサイクルメンテナンス	実践化研修
コースプログラム													
全社保全方針とこれに基づく保全の目的、役割の理解		○	○	○	○		○			○			○
生産技術に関わる全社基盤の理解と参画		○	○	○	○		○	○		○	○		○
保全戦略の作成に関する理解	保全戦略とは	○	○	○	○		○			○			○
	保全水準評価	○	○	○			○					○	○
	中長期資源配分計画	○	○		○		○				○	○	○
	保全情報マネジメント	○	○				○		○			○	○
	コンプライアンス	○	○									○	○
	危機管理体制	○	○		○					○		○	○
計画保全システム	計画保全システム		○	○	○					○		○	○
	具体的計画保全システム構築手順		○	○						○		○	○
保全技術	保全技術に関する規格・基準類の体系		○			○	○	○	○			○	○
	基本的な整備技術		○			○	○	○				○	○
	基本的な検査診断技術		○			○	○	○				○	○
	故障解析技術		○				○	○	○			○	○
	基本的な設計技術・施工技術		○		○		○	○	○			○	○

受講のための要件

設備管理に関する固有技術の基礎知識は既知のこととし、それらについては講義で触れません

本コースの特徴

- 各分野において最も活躍している、一流の学識経験者やベテラン企業人、経験豊かなコンサルタント等が講師陣となっています
- 講師からの一方的な講義ではなく、受講者と講師の対話、受講者間の討議、各種演習や実習を通じて、『自ら考え、発信し、行動する』リーダーの育成をめざします
- 他業種、他社の参加者との交流を通じて、人脈ネットワークを形成できるようになります
- 第5単位の<実践化研修>を通じて、コースで学んだ講義内容を、企業での実践につなげるための課題抽出と対策立案を行います
- 全単位修了者には認定証書を交付するとともに、「設備管理士」の称号を授与します

その他

- 各単位ごとに修了試験を行います
- 第5単位は1泊2日の合宿(千葉県船橋市)となります
- 全5単位のうち、欠席の科目がある場合、認定証書の交付は来年度に同科目を受講した後になります

2017年度「設備管理士養成コース」プログラム（予定）

単位・開催地	No.	日程	科目	講義内容	担当講師	専門分野
第1単位 (東京)	1	7月12日 (水)	設備管理士の役割 <経営と保全>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営と保全 ・戦略的保全マネジメントシステムの構造 ・保全戦略の策定 ほか 	日本プラントメンテナンス協会 上席主幹研究員 佐藤 信義 (工学博士)	保全経営、 計画保全、 設備診断技術
	2	7月13日 (木)	設備管理概論 <計画保全>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画保全とは ・保全情報管理システムの概要 ・計画保全体制の再構築 ・計画保全システム再構築の事例 		
	3	7月14日 (金)	TPM 概論	<ul style="list-style-type: none"> ・TPM の構造 ・TPM の本質をさぐる ・個別改善と自主保全の関係 ・設備総合効率の考え方 ・自主保全について ほか 	日本プラントメンテナンス協会 TPM 優秀賞審査員 TPM 優秀論文賞審査員 市川 章	TPM 全般、 ISO14000 全般、 ISO9000 全般
第2単位 (東京)	4	8月23日 (水)	工場レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> ・工場レイアウトの基本的な考え方 ・工場レイアウト策定ステップと主なポイント ・工場レイアウトの分析手法（演習） ・柔軟な工場レイアウト編成 ・リードタイム短縮とレイアウト改善 ・海外における工場レイアウト策定ポイント ほか 	日本能率協会コンサルティング TPM 革新センター シニアコンサルタント 白濱 伸也	工場レイアウト計画、 設備総合効率化、 設備設計、 作業能率管理、 品質管理、 ISO、6シグマ
	5	8月24日 (木)	トライボロジー	<ul style="list-style-type: none"> ・トライボロジーとは ・摩擦、摩耗はどのように起こるか ・潤滑剤の基本特性と種類、選定法 ・潤滑システムの考え方 ・機械要素のトライボロジー ほか 	トライボロジーアドバイザー 似内 昭夫 (元・玉川大学 工学部長 教授)	潤滑工学
	6	8月25日 (金)	改善活動の経済性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・TPM 活動の経済性評価 ・経済性評価とは ・経済性の比較の原則 ・キャッシュフロー基準 ・単一の投資案の経済性評価 ほか 	慶應義塾大学 大学院 経営管理研究科 教授 TPM 優秀賞審査員 河野 宏和	生産政策、 生産マネジメント、 生産管理論、 経済性工学
第3単位 (東京)	7	9月14日 (木)	新製品開発における品質と信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理のコア ・新商品、新技術開発のトライアングルと5つポイント ・信頼性保証の7つの基本的事項 ほか 	中央大学 理工学部経営システム工学科 教授 TPM 優秀賞審査員 宮村 鐵夫	信頼性工学、 新製品・技術開発の マネジメント
	8	9月15日 (金)	現場で役立つ設備診断技術	<ul style="list-style-type: none"> ・予知保全技術の概要と位置づけ ・回転機器の予知保全技術 ・現場における振動診断事例 ・静止機械の損傷と非破壊検査 ほか 	旭化成エンジニアリング プラントライフ事業部 メンテナンス研究所 所長 迫 孝司	設備診断技術
第4単位 (東京)	9	10月19日 (木)	信頼性工学/ システム安全工学	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクとは ・リスクマネジメント ・信頼性工学 信頼度関数と故障率 ・定性的リスク評価 What-if/FMEA/HAZOP ・定量的リスク評価 イベント・ツリー解析 ほか 	岡山大学 工学部 自然科学研究科機械システム系学科 教授 鈴木 和彦	社会システム工学、 安全システム
	10	10月20日 (金)	生産管理とIE	<ul style="list-style-type: none"> ・生産の基本と生産方式 ・生産管理の基本 ・生産性向上とIE ・標準時間と工数・設備効率管理 	ME マネジメントサービス 代表取締役 橋本 賢一 (経営コンサルタント、公認会計士)	原価革新、 生産性向上、IE
第5単位 (千葉・船橋) <合宿>	11	11月21日 (木)	ライフサイクルメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスの意義の再確認 ・設備のライフサイクル管理とメンテナンス ・基本メンテナンス計画の考え方 ・O&M 統合計画とメンテナンス効果評価 	早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 教授 TPM 優秀賞審査員 高田 祥三	生産システム学、 保全システム工学
	12	11月22日 (金)	実践化研修 <修了式>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修課題に関する個人研究とグループ討議 ・グループ討議とグループ発表 	日本プラントメンテナンス協会 上席主幹研究員 佐藤 信義 (工学博士)	保全経営、 計画保全、 設備診断技術、

(※日程、プログラムは変更する場合があります)

■参加規定

お申し込みはファクシミリで **048-470-2702**
 またはHPで <http://www.jipm.or.jp>

参加料金

日本プラントメンテナンス協会 会員価格 (正会員・事業所会員) 日本能率協会 法人会員	367,200円/1人 (税込み) (本体価格340,000円+消費税27,200円)
一 般	432,000円/1人 (税込み) (本体価格400,000円+消費税32,000円)

※参加料には、テキスト(資料)代、昼食代、第5単位の合宿費、認定料等が含まれています

会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください
<http://www.jipm.or.jp/memberlist/> 日本プラントメンテナンス協会HP
https://www3.jma.or.jp/jma-member/list_new/n_member_list.php
 日本能率協会HP

会員外の方は、この機会にぜひ小会への入会をご検討ください

参加お申し込み方法・参加料お支払い方法

- 下記申込書に必要事項をご記入のうえ、開催の3日前まで(土日曜・祝祭日を含みません)にファクシミリまたは小会ホームページからお申込みください。電話のみでのお申込みは受け付けいたしておりません
- 開催の約2週間前より、派遣窓口担当者様宛に受付票・詳細案内と請求書を送付いたしますので、請求書が届き次第、小会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

■個人情報の取扱いについて

下記にご記入いただいた個人情報は、小会保有データとして管理させていただきます。また、後日に小会および小会関連法人によりそれらの商品・サービス・講座等のご案内を送付させていただきます場合がございます。収集した個人情報は、小会のプライバシーポリシーに則った安全対策を施し、適切に管理いたします。なお、ご案内の送付中止、および個人情報の開示・訂正・削除の詳細につきましては、小会のホームページをご参照ください。

● 個人情報に関するお問い合わせ先…… (公社)日本プラントメンテナンス協会 <http://www.jipm.or.jp/privacy.html>

※郵送物の送付停止や宛先変更を希望される場合には、お手数をおかけしますが、上記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます

お願い・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持ち込みをお断りいたします
- 参加申込みをキャンセルされる場合、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますのであらかじめご了承ください
 ※キャンセルはファクシミリでのみ受け付けます

開催当日および前日の参加取消し…………… 参加料全額
 (参加料入金済の場合、返金をいたしません)

開催の2日前～7日前の参加取消し…………… 参加料の30%
 (参加料入金済の場合、70%を返金いたします)
 ※いずれも土日曜・祝祭日を含みません

■お申し込みについてのお問い合わせ先

株式会社アイ・イーシー

通信教育・セミナー受付センター

電話：048-470-3710 E-mail：seminar@iecj.com

※小会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

■講座内容についてのお問い合わせ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル15階

電話：0120-451-466(または03-5288-5001)

E-mail：fukyu@jipm.or.jp

LC1041

2017年度 設備管理士養成コース参加申込み書

太線の枠内をご記入ください

ふりがな				ふりがな				(公社)日本プラントメンテナンス協会 への連絡・希望事項	
会社名				事業所					
所在地	〒								
派遣 窓口 担当者 (請求書等 送付先)	(ふりがな)				所属 役職				
	氏名								
	TEL	()	-		FAX	()	-		
	E-Mail								
参加者	(ふりがな)				所属 役職				
	氏名								
	E-Mail								
参加料 (税込)	<input type="checkbox"/> 会 員	367,200円 × () 人							
	<input type="checkbox"/> 一 般	432,000円 × () 人		合計金額				円	
								JIPM使用欄	
								受 付	登 録
								発 送	